

2013 年度 第 1 回単位互換・^{みやこ}京カレッジに関する事務担当者会議

次 第

日時：2013 年 7 月 12 日（金）

14：00～16：00

場所：キャンパスプラザ京都
第 1 会議室

I 開 会

II 単位互換・^{みやこ}京カレッジ共通の報告事項

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1. 2014 年度ブラザ科目学年暦 | …資料 1 |
| 2. 2014 年度単位互換・京カレッジ科目開設補助金支給基準 | …資料 2 |
| 3. 教務事務に関するお願い | …資料 3 |

III 単位互換事業に関する報告事項

- | | |
|------------------------|-------|
| 1. 2013 年度単位互換出願状況の報告 | …資料 4 |
| 2. コーディネート科目について | …資料 5 |
| 3. 単位互換事業にかかわる連絡事項について | …資料 6 |

IV ^{みやこ}京カレッジ事業に関する報告事項

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| 1. 2013 年度京カレッジ出願状況の報告 | …資料 7 |
| 2. 2014 年度京カレッジ後期募集について | …資料 8 |
| 3. 2014 年度京カレッジ京都力養成コース プログラム募集について | …資料 9 |

V そ の 他

- | | |
|------------------------------------|--------|
| 1. 2014 年度学生に開かれた「生涯学習講座」の進捗状況について | …資料 10 |
|------------------------------------|--------|

VI 閉 会

【配付資料】

1. 加盟大学における単位互換実施一覧
2. 教職員向けファイル管理システムへのアクセス方法

以 上

2014 年度キャンパスプラザ京都学年暦

科目開設大学の基準や考え方を基礎としつつも、キャンパスプラザ京都には京都市の開館方針等の制約があるため、それに沿った独自の学年暦を別紙のとおり提示する。

1. 授業回数について

授業回数に定期試験を含まず、半期で 90 分授業を 15 回実施する枠組みとする。

2. 区分について

2. の考え方に基づいて、プラザ科目は「授業期間」と「定期試験期間」を別に設けることとする。ただし、夏期集中期間に実施する夏期集中科目については個別の試験期間を設けていないため、平常点評価もしくはレポート試験における成績評価を依頼する。

3. 「授業期間」について

前期、後期とも、同一曜日、同一時間帯に 15 回連続して授業を行うことを原則とする。

4. 「補講」について

休講した場合は、科目開設大学の基準に基づいて補講を実施する。ただし、プラザ科目として統一的な補講日や「補講週」などは設定せず、教室条件や受講生の状況を勘案しながら、個別調整していくものとする。

5. 成績評価について

成績評価にあたっては、科目開設大学の方針に基づいて、原則として 15 回の授業を実施した上で、「レポート試験」、「平常点評価」、「定期試験」等で行う。

<参考> 大学設置基準

(単位)

第二十一条 各授業科目の単位数は、大学において定めるものとする。

2 前項の単位数を定めるに当たっては、一単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもつて構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

一 講義及び演習については、十五時間から三十時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもつて一単位とする。

二 実験、実習及び実技については、三十時間から四十五時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもつて一単位とする。ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、大学が定める時間の授業をもつて一単位とすることができる。

三 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前二号に規定する基準を考慮して大学が定める時間の授業をもつて一単位とする。

3 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(一年間の授業期間)

第二十二条 一年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、三十五週にわたることを原則とする。

(各授業科目の授業期間)

第二十三条 各授業科目の授業は、十週又は十五週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、これらの期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

2014年度 学年暦（プラザ科目）(案)

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
		①	①	①	①	①
13	14	15	16	17	18	19
①		②	②	②	②	②
20	21	22	23	24	25	26
②		③	③	③	③	③
27	28	29	30			
③						

4/8 前期開始、4/29 昭和の日、
4/28～5/6講義休止期間

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					試	試
3	4	5	6	7	8	9
試		試				
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8/6～9/21 集中講義

12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
		⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
7	8	9	10	11	12	13
⑩		⑪	⑪	⑪	⑪	⑪
14	15	16	17	18	19	20
⑪		⑫	⑫	⑫	⑫	⑫
21	22	23	24	25	26	27
⑫						
28	29	30	31			

12/23 天皇誕生日、
12/22～1/5 講義休止期間

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
			④	④	④	④
11	12	13	14	15	16	17
④		④	⑤	⑤	⑤	⑤
18	19	20	21	22	23	24
⑤		⑤	⑥	⑥	⑥	⑥
25	26	27	28	29	30	31
⑥		⑥	⑦	⑦	⑦	⑦

5/3 憲法記念日、5/4 みどりの日、
5/5 こどもの日、5/6 振替休日

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				
①		①				

9/15 敬老の日、9/23 秋分の日、
9/28 後期開始

1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
		⑬	⑬	⑬	⑬	⑬
11	12	13	14	15	16	17
⑬		⑭	⑭	⑭	⑭	⑭
18	19	20	21	22	23	24
⑭		⑮	⑮	⑮	⑮	⑮
25	26	27	28	29	30	31
⑮		試	試	試	試	試

1/1 元日、1/12 成人の日、
1/27～2/1 後期試験期間

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
⑦		⑦	⑧	⑧	⑧	⑧
8	9	10	11	12	13	14
⑧		⑧	⑨	⑨	⑨	⑨
15	16	17	18	19	20	21
⑨		⑨	⑩	⑩	⑩	⑩
22	23	24	25	26	27	28
⑩		⑩	⑪	⑪	⑪	⑪
29	30					
⑪						

10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			①	①	①	①
5	6	7	8	9	10	11
②		②	②	②	②	②
12	13	14	15	16	17	18
③		③	③	③	③	③
19	20	21	22	23	24	25
④		④	④	④	④	④
26	27	28	29	30	31	
⑤		⑤	⑤	⑤	⑤	

10/13 体育の日

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
試						
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

2/11 建国記念の日

7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		⑪	⑫	⑫	⑫	⑫
6	7	8	9	10	11	12
⑫		⑫	⑬	⑬	⑬	⑬
13	14	15	16	17	18	19
⑬		⑬	⑭	⑭	⑭	⑭
20	21	22	23	24	25	26
⑭		⑭	⑮	⑮	⑮	⑮
27	28	29	30	31		
⑮		⑮	試	試		

7/21 海の日、7/30～8/5 前期試験期間

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
						⑤
2	3	4	5	6	7	8
⑥		⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
9	10	11	12	13	14	15
⑦		⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
16	17	18	19	20	21	22
⑧		⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
23	24	25	26	27	28	29
		⑨	⑨	⑨	⑨	⑨
30						
⑨						

11/3 文化の日、11/23 勤労感謝の日、
11/24 振替休日

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

3/21 春分の日

- ・各期間、15回を確保
- ・前期：4月8日（火）～7月29日（火） 試験期間：7月30日（水）～8月5日（火）
- ・後期：9月28日（日）～1月25日（日） 試験期間：1月27日（火）～2月1日（日）

科目開設補助金等支給基準

2014年度科目開設補助金の支給については、以下のとおりとなります。

1. 支給対象と内容について

…他大学の学生・京カレッジ生が定員の50%以上を占め、かつキャンパスプラザ京都で開講される持出科目について、科目開設補助金等を支給する（なお2014年度も、他大学の学生・京カレッジ生の出席者数が10名以上の場合は支給対象とする）。詳細は以下の表のとおり。

講義会場	持出科目（＝原則「プラザ」科目）		既存科目 （＝原則「オンキャンパス」科目）
	コード・ネット科目	コード・ネット科目以外	
プラザ科目	科目開設補助金：○ コード・ネット費用：○	科目開設補助金：○	
オンキャンパス科目	科目開設補助金：△ コード・ネット費用：△	科目開設補助金：△	科目開設補助金：×
eラーニング科目	科目開設補助金：○ コード・ネット費用：○		

<凡例>

- ：支給対象
- △：実習科目等施設上の理由でオンキャンパス科目とせざるを得ない場合等、大学コンソーシアム京都がオンキャンパスでの開講を依頼した場合は支給対象とする
- ×：支給対象外

<用語の説明>

- ・プラザ科目：キャンパスプラザ京都で開講する科目（対面形式）。
- ・オンキャンパス科目：科目開設大学のキャンパスで開講する科目（対面形式）。
- ・eラーニング科目：VOD、遠隔講義等ネット配信を通して開講する科目。
- ・持出科目：単位互換事業のために開設された科目。設備上の理由など特別の場合を除き、原則としてキャンパスプラザ京都での開講とする。
- ・既存科目：大学・短期大学の既存科目を単位互換履修生のために開放した科目。原則としてオンキャンパス科目とする。

- ・コード・ネット科目：従来の学問分野の枠組みを超えた新領域の科目（複合領域分野）や実社会の当事者より最新の情報を学ぶ科目群（21世紀学分野）、または京都について多角的に研究する科目群（京都学分野）、新たな授業形態で学ぶ科目群（eラーニング分野）を、加盟大学・短期大学や本財団が戦略的に企画立案し、新規に開設する科目。

II. 支給金額とその用途について

1. 科目開設補助金

- 1) コーディネート科目以外（原則プラザ科目）
 - ①単位互換事業に提供されている科目は、半期科目・集中講義科目とも半期1科目5万円（通年科目は10万円）として科目開設大学に支給する。なお、実習・実技科目として申請があった場合も、これと同額とする。
 - ②単位互換事業と京カレッジ事業の両事業に提供されている科目は、単位互換事業からのみ①と同様の取り扱いで支給する。
- 2) コーディネート科目（原則プラザ科目）
 - 半期1科目15万円（通年科目は30万円）を基準に協議の上決定し、原則3年間、科目開設大学に支給する（15万円は、学外講師の謝礼を一人あたり33,333円（交通費・税込）として、4名程度招聘することを基準として算出）。
 - ※企業・団体などからの寄付による講座については、1)と同様持出科目扱いとし、本財団より科目開設補助金5万円（半期1科目）を支給する。
- 3) 補助金の経費執行について
具体的な経費執行に際しては、科目開設大学のルールに則って運用してください。

2. 京都力養成コース（京カレッジ）

京カレッジ京都力養成コースについては、以下の支給基準に基づいて、京カレッジ企画検討委員会で採択された金額を上限として、科目開設大学に対して、支給する。

- ①プログラム開設コーディネート料（一律100,000円）
- ②講師謝金等経費（33,333円×授業回数）

但し、入門科目は4コマ以上8コマ以下、PBL科目は9コマ以上15コマ以下とする。

3. その他の費用

単位互換事業・京カレッジ事業ともに科目開設にかかる費用のうち、プラザ科目の会場費・施設使用料（備品を含む）は大学コンソーシアム京都が負担する。

5. コーディネート費用取扱要項

コーディネート費用取扱要項については、以下のとおりとなります。

『単位互換・京カレッジ事業 ガイドライン』に定めのあるコーディネート費用等の支給について、本取扱要項において支給条件等の詳細を規定する。

1. コーディネート費用支給条件

- (1) コーディネート科目新規開設の準備に際し、コーディネート費用として次のとおりコーディネート個人(科目代表者)に支給することができる。

- ① 初年度は、1科目 10万円を上限として支給することができる。

支給範囲内訳：

a. 謝礼：33,333円（コーディネート本人分）

* 新年度開始前に大学コンソーシアム京都から大学教務担当部署を通じて「振込先届用紙」をコーディネーターへ送付する。

b. 諸費用：66,667円まで

* コーディネーターからの申請に基づき、実費を支給する。

* 対象：旅費・交通費（タクシーは1乗車3千円上限）、会場費、通信費、

図書費（同一図書の購入は2冊上限）、会議費（日時・目的・出席者名を明記。1会議1人3千円上限。アルコールは支給対象外）

※開講中及び終了後の経費（例：学外実習の際の手土産代、施設見学入場料、試験に関係する管理費用、反省会開催費用等）については、コーディネート費用の支給対象外となるため、必要な場合は、科目開設大学に支給する「科目開設補助金」など、科目開設大学より負担するものとする。

- ② 2年目と3年目は1科目 7万円を上限として、前掲b.の範囲で実費支給することができる。

- (2) 購入を希望する物品（公益財団法人大学コンソーシアム京都会計規程第36条に定める備品、消耗品）がコーディネート科目以外の用途に転用が可能な場合、コーディネート費用は支給しない。

- (3) コーディネート科目は原則3年間開設するものであるため、3年終了後に継続して設置した場合でも、コーディネート費用は支給しない。

- (4) プラザ科目の学内外ゲストスピーカーやT. A. 等補助員に係る人件費等については、科目開設補助金を利用することし、コーディネート費用からの追加支給はない。

- (5) 前掲(1)①の支給範囲を超える支給を希望する場合は、公益財団法人大学コンソーシアム京都に必ず事前相談を行うこととする。

- (6) コーディネート科目を担当するのは、各開講科目大学の専任教員であること。

2. 支給範囲 内訳b.の申請手続

(1) 申請期限

前期科目・集中講義科目	開講年度10月30日まで
後期科目・通年科目	開講年度1月31日まで

(2) 申請方法

コーディネート費用を希望する場合は、次の申請書を本財団に提出することとする。

- 「コーディネート費用：諸費用相当額申請書」(別紙①)
- 「コーディネート費用：諸費用相当額申請書（諸費用明細）」(別紙②)
- 「領収書」(コピー不可)

3. 本取扱要項の改廃

- (1) 本取扱要項は、2008年10月2日に制定し、2009年度より適用する。

- (2) 本取扱要項を改廃する場合は、単位互換に関する事務担当者会議にて意見を聴取のうえ、あらためて本財団の総括会議にて審議することとする。

以上

公益財団法人大学コンソーシアム京都 宛

2013 年 6 月 30 日

コーディネート費用：諸費用相当額申請書

コーディネート科目開設にかかる諸費用相当額について、以下のとおり申請します。

記

請求金額45,080円

金融機関名コンソ銀行信用金庫※どちらかを○で開んでください

支店名本店支店(店番：001)

口座番号普通0011111

口座名義(姓)組素太郎(コンソタロウ)

本人住所〒600-8215京都市下京区西御院通塩小路下ル

今楚大学・短期大学

開設科目名京都を巡る

科目担当者名組素太郎印

以上

公益財団法人大学コンソーシアム京都 宛

2013 年 6 月 30 日

コーディネート費用：諸費用相当額申請書（諸費用明細）

請求金額45,080円

使用日	内 容	支払先	金 額
2012/6/2	会議費（授業運営について） （杉下・村田・金田・組素）	カフェテリア・ソヨギ	8,500 円
2012/6/10	図書費	紀伊国屋書店	36,580 円

*コーディネート科目開設の準備にかかった旅費・交通費（区間等を明記してください。タクシーは1乗車3千円上限）、会場費、通信費、図書費（同一図書の購入は2冊上限）、会議費（日時・目的・出席者名を明記してください。1会議1人3千円上限、アルコールは支給対象外）の実費をご請求ください。なお、この項目にあてはまらない費用については、科目開設補助金より支出が可能か大学担当者にお問い合わせください。

*領収書（コピー不可）を添付してください。

今楚大学・短期大学

開設科目名京都を巡る

科目担当者名組素太郎

教務担当者名鈴木次郎

以上

2013年7月12日 第1回事務担当者会議

単位互換・京カレッジ事業にかかわる教務事務【お願い】**1. 個人情報の送付**

2014年度開講に向けた個人情報送付について別紙をご確認ください。

2. プラザ科目の授業対応について

プラザ科目の授業では、例年のケースを参考に以下の通り、留意事項をまとめました。つきましては、各大学のご担当の教員のみなさまにお伝えください。

(1) 教室利用について

キャンパスプラザ京都で開設する講義科目にかかわって、賃貸利用のため、施設利用、備品利用の費用負担が発生します。各大学から頂戴した資金をもとに事業運営していることもあり、無駄な経費の発生を抑えていきたいと思っております。そのため、以下をご留意ください。

- ① 授業終了後は速やかに退出いただき、講義延長は行わないでください。なお、質問等の学生との対応については、大変恐縮ですが、教室外のラウンジをご活用ください。
- ② 休講時の授業スケジュールの管理、授業時の必要な備品などもできる限り把握していただき、事務局までできる限り早くご連絡くださいますよう、よろしくお願いいたします。
- ③ 教室は、シラバスに記入された定員数によって割り当てをいたします。キャンパスプラザ京都の施設予約の都合上、出願・履修者数の確定後に教室変更ができません。そのため、シラバス表記の段階から注意していただき、講義定員を確定してください。

(2) 授業運営について

キャンパスプラザ京都での開講科目についても、各大学の授業運営と同様となっています。教員より授業にかかわるサポートの依頼があった場合は、各科目開設大学担当者様にてご対応をお願いいたします。大学コンソーシアムスタッフはお手伝いできません。

(3) 駐車料金について

授業の際、お車にてお越しになられた場合でも、割引などの措置ができません。公共交通機関をご利用されることを推奨します。

3. 学内での情報共有

単位互換担当部署と生涯学習担当部署が異なる大学・短期大学においては、単位互換・京カレッジに関する事務連絡を学内共有してください。

メーリングリスト:t-go@consortium.or.jp に主要な情報をお送りしますので、メーリングリストのメンバーの追加・修正等がございましたら、随時、事務局までご連絡ください。

4. 補講・休講について

- (1) e京都ラーニングシステム導入につき、シラバス入力から出願、履修決定、連絡通知、補講・休講、レポート情報、教室変更などを行っていただいております。突然の休講情報、教室変更という場合でも、学生にeメールで連絡されますので、情報入力の遺漏がないようにお願いします。

- (2) 京カレッジ生は、十分システムを活用できていない方もいらっしゃるため、急な休講や教室変更などの場合は、教室、学部・教務掲示板等への掲示、または個別連絡にてご対応くださいます

ようお願いいたします。また、キャンパスプラザ京都において、同様のケースが想定される場合は、事務局までご相談ください。

- (3) お知らせに登録した場合、履修者あてに自動的にメール配信がされる設定になっています。各大学での出願手続きの方法によってはダミーアドレスでの登録がされていることがあります。所属大学のe京都ラーニング掲示板で周知をお願いします。

単位互換受講生お知らせ入力後メール配信 注意学生	
立命館大学 対面授業のみ受講学生	履修結果が通知されるまでは、ダミーアドレスのためお知らせ機能のメールは配信されません。立命館大学よりe京都ラーニングTOPのお知らせを確認するよう連絡されています。
立命館大学 eラーニング科目受講生 (eラーニング+対面授業含む)	履修許可完了後、正式なアドレスが登録されていますので、お知らせによる連絡がメールにて届きます。
京カレッジ生	出願票にメールアドレスを記入した受講生は、お知らせメールの連絡が届きます。

以 上

2013 年度個人情報の送付について

2013 年度も個人情報を伴う重要情報の連絡用に、パスワードを設定して、情報の伝達を行いたいと存じます。

パスワードは単位互換・京カレッジともに同一とし、本年度使用するパスワードは下記のとおりといたします。パスワードの取り扱いにつきましては、ご注意くださいますようよろしくお願い申し上げます。

記

2013 年度単位互換・京カレッジで使用するパスワード

tgmc13

※半角、小文字でお願いします。

※来年度第 1 回事務担当者会議まで使用することとします。

<パスワードの設定方法>

- ① 名前を付けて保存を選択します。
- ② 「ツール」の中の「全般オプション」（ワードの場合は、「セキュリティオプション」）を選択します。
- ③ ※Excel、Word の場合はどちらも「全般オプション」からパスワードの設定を行います。
- ④ 「読み取りパスワード」に上記パスワードを入力し、「OK」を選択します。
- ⑤ 再度、パスワードを聞いてきますので、同様に入力します。
- ⑥ 名前を付けて保存します。

<ファイルの読み取り方法>

- ① ファイルを開くと「パスワード」を聞いてきますので、上記を入力します。
- ② ファイルが開きます。

付 記：成績通知につきましては、データ・紙媒体に関わらず、これまで同様郵送にて送付いただきますようお願いいたします。

以上

2013年6月4日 第4回総括会議

2013年度 単位互換事業 大学別出願者数・履修許可者数一覧

教育事業部

大学・短期大学（部）名	2013年度 (春登録)		2012年度 (春登録)		2012年度合計 (春+追加+後期)		2013春登録-2012春登録 増減			
	出願者 合計	履修可 者合計	出願者数	履修可 者数	出願者 数	履修可 者数	出願者 増減	%	履修可 増減	%
1 池坊短期大学	5	5	2	2	2	2	3	250.0%	3	250.0%
2 大阪医科大学	21	19	31	30	31	30	-10	67.7%	-11	63.3%
3 大阪成蹊大学	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
4 大谷大学	17	16	30	30	33	33	-13	56.7%	-14	53.3%
5 大谷大学短期大学部	2	2	0	0	0	0	2	新	2	新
6 華頂短期大学	5	5	1	1	1	1	4	500.0%	4	500.0%
7 京都大学	3	3	3	3	3	3	0	100.0%	0	100.0%
8 京都外国語大学	80	74	58	56	62	60	22	137.9%	18	132.1%
9 京都外国語短期大学	14	12	17	17	17	17	-3	82.4%	-5	70.6%
10 京都学園大学	44	44	50	45	88	81	-6	88.0%	-1	97.8%
11 京都教育大学	13	12	23	21	26	24	-10	56.5%	-9	57.1%
12 京都経済短期大学	6	6	11	9	19	17	-5	54.5%	-3	66.7%
13 京都光華女子大学	22	22	28	28	33	33	-6	78.6%	-6	78.6%
14 京都光華女子大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
15 京都工芸繊維大学	128	119	83	83	97	97	45	154.2%	36	143.4%
16 京都嵯峨芸術大学	14	14	14	14	14	14	0	100.0%	0	100.0%
17 京都嵯峨芸術大学短期大学部	0	0	1	1	3	3	-1	0.0%	-1	0.0%
18 京都産業大学	694	651	548	489	757	698	146	126.6%	162	133.1%
19 京都女子大学	289	270	278	267	282	271	11	104.0%	3	101.1%
20 京都女子大学短期大学部	—	—	4	3	4	3	-4	—	-3	—
21 京都市立芸術大学	4	4	4	3	4	3	0	100.0%	1	133.3%
22 京都精華大学	12	10	40	40	40	40	-28	30.0%	-30	25.0%
23 京都西山短期大学	1	1	0	0	0	0	1	新	1	0.0%
24 京都造形芸術大学	10	8	12	12	12	12	-2	83.3%	-4	66.7%
25 京都橘大学	7	7	16	16	16	16	-9	43.8%	-9	43.8%
26 成美大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
27 京都ノートルダム女子大学	9	8	6	6	7	7	3	150.0%	2	133.3%
28 京都府立大学	35	33	29	28	30	29	6	120.7%	5	117.9%
29 京都府立医科大学	4	4	3	3	3	3	1	133.3%	1	133.3%
30 京都文教大学	11	10	34	33	36	35	-23	32.4%	-23	30.3%
31 京都文教短期大学	1	1	2	2	2	2	-1	50.0%	-1	50.0%
32 京都薬科大学	31	28	28	28	30	30	3	110.7%	0	100.0%
33 種智院大学	2	2	14	14	14	14	-12	14.3%	-12	14.3%
34 成安造形大学	3	3	10	9	11	10	-7	30.0%	-6	33.3%
35 京都聖母学院短期大学	2	1	0	0	0	0	2	新	1	新
36 同志社大学	166	153	171	164	188	175	-5	97.1%	-11	93.3%
37 同志社女子大学	180	171	144	137	152	145	36	125.0%	34	124.8%
38 花園大学	8	8	1	1	1	1	7	800.0%	7	800.0%
39 佛教大学	87	81	79	74	96	90	8	110.1%	7	109.5%
40 平安女学院大学	20	19	19	19	23	23	1	105.3%	0	100.0%
41 平安女学院大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
42 明治国際医療大学	10	10	4	4	25	25	6	250.0%	6	250.0%
43 立命館大学	2968	2321	3,377	3,057	3,533	3,213	-409	87.9%	-736	75.9%
44 龍谷大学	268	256	281	266	334	318	-13	95.4%	-10	96.2%
45 龍谷大学短期大学部	0	0	8	8	8	8	-8	0.0%	-8	0.0%
46 早稲田大学	18	18	11	11	11	11	7	163.6%	7	163.6%
47 昭和女子大学	1	1	3	1	3	1	-2	33.3%	0	100.0%
48 昭和女子大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%
49 京都華頂大学	1	1	5	4	5	4	-4	20.0%	-3	25.0%
50 京都美術工芸大学	1	1	0	0	0	0	1	新	1	新
51 成美大学	0	0	0	0	0	0				
計	5,217	4,434	5,483	5,039	6,056	5,602	-266	95.1%	-605	88.0%

※京都薬科、平安女学院はブラザ科目を、龍谷は他学部受講を単位互換として扱っているため自大学の学生でも履修者に含まれている。

※京都産業大学はeラーニングにかかわって自大学の学生を9名含んでいる。

2013年4月21日 現在

2011～2013年度単位互換科目出願者・履修者数(前期+追加登録)

大学・短期大学(都)名	2013年度 (前期登録)				2013年度 (追加登録)				2013年度 (前期+追加登録)			
	出願者 合計	履修可 者数	出願者数	履修可者数	出願者数	履修可者数	出願者数	履修可者数	出願者数	履修可者数	出願者数	履修可者数
1 池坊短期大学	5	5	0	0	0	0	5	3	5	3		
2 大阪医科大学	21	19	4	4	4	4	25	-6	23	-7		
3 大阪成蹊大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
4 大谷大学	17	16	0	-3	0	-3	17	-16	16	-17		
5 大谷大学短期大学部	2	2	0	0	0	0	2	2	2	2		
6 兼頂短期大学	5	5	1	1	1	1	6	5	6	5		
7 京都大学	3	3	0	0	0	0	3	0	3	0		
8 京都外国語大学	80	74	1	-3	1	-3	81	19	75	15		
9 京都外国語短期大学	14	12	0	0	0	0	14	-3	12	-5		
10 京都学園大学	44	44	2	-19	2	-19	46	-25	46	-20		
11 京都教育大学	13	12	2	-1	2	-1	15	-11	14	-10		
12 京都経済短期大学	6	6	0	-8	0	-8	6	-13	6	-11		
13 京都光華女子大学	22	22	3	3	3	3	25	-3	25	-3		
14 京都光華女子大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
15 京都工芸繊維大学	128	119	3	-9	3	-9	131	36	122	27		
16 京都繊維芸術大学	14	14	0	0	0	0	14	0	14	0		
17 京都嵯峨芸術大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	-1	0	-1	0		
18 京都産業大学	694	651	60	16	60	16	754	182	711	178		
19 京都女子大学	289	270	14	10	14	10	303	21	284	13		
20 京都女子大学短期大学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
21 京都市立芸術大学	4	4	0	0	0	0	4	0	4	0		
22 京都精華大学	12	10	0	0	0	0	12	-28	10	-30		
23 京都西山短期大学	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1		
24 京都造形芸術大学	10	8	0	0	0	0	10	-2	8	-4		
25 京都橘大学	7	7	0	0	0	0	7	-9	7	-9		
26 成美大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
27 京都ノートルダム女子大学	9	8	1	0	1	0	10	3	9	2		
28 京都府立大学	35	33	0	-1	0	-1	35	5	33	4		
29 京都府立医科大学	4	4	0	0	0	0	4	1	4	1		
30 京都文教大学	11	10	0	0	0	0	11	-23	10	-23		
31 京都文教短期大学	1	1	0	0	0	0	1	-1	1	-1		
32 京都薬科大学	31	28	1	-1	1	-1	32	2	29	2		
33 種智院大学	2	2	0	0	0	0	2	-12	2	-12		
34 成安造形大学	3	3	0	-1	0	-1	3	-8	3	-7		
35 京都聖母学院短期大学	2	1	0	0	0	0	2	2	1	1		
36 同志社大学	166	153	1	-9	1	-4	167	-14	154	-15		
37 同志社女子大学	180	171	2	-6	2	-6	182	30	173	28		
38 花園大学	8	8	0	0	0	0	8	7	8	7		
39 佛教大学	87	81	15	0	15	1	102	8	96	8		
40 平安女学院大学	20	19	0	-4	0	-4	20	-3	19	-4		
41 平安女学院大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
42 明治国際医療大学	10	10	0	-21	0	-21	10	-15	10	-15		
43 立命館大学	2968	2321	0	-156	0	-156	2,968	-565	2,321	-602		
44 麗谷大学	268	256	23	11	23	11	291	-2	279	1		
45 麗谷大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	-8	0	-8		
46 早稲田大学	18	18	0	0	0	0	18	7	18	7		
47 昭和女子大学	1	1	0	0	0	0	1	-2	1	0		
48 昭和女子大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
49 京都華頂大学	1	1	0	0	0	0	1	-4	1	-3		
50 京都美術工芸大学	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1		
51 成美大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計	5,217	4,434	133	-197	133	-191	5,350	-463	4,567	-796		

※2013年度前期は京都薬科、平安女学院はブラサ科目を、龍谷は他学部受講を単位互換として扱っているため自大学の学生でも履修者に含まれている。京都産業大学はラーニングにかかわって自大学の学生を9名含んでいる。
※2013追加は龍谷は前期と同様、京都ノートルダム女子、仏教は自大学の学生を1名ずつ単位互換として扱っている。

大学・短期大学(都)名	2012年度 (前期登録)				2012年度 (追加登録)				2012年度 (前期+追加登録)			
	出願者 合計	履修可 者数	出願者数	履修可者数	出願者数	履修可者数	出願者数	履修可者数	出願者数	履修可者数	出願者数	履修可者数
1 池坊短期大学	2	2	0	0	0	0	2	2	2	2		
2 大阪医科大学	31	30	0	0	0	0	31	30	31	30		
3 大阪成蹊大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
4 大谷大学	30	30	3	3	3	3	33	33	33	33		
5 大谷大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
6 兼頂短期大学	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1		
7 京都大学	3	3	0	0	0	0	3	3	3	3		
8 京都外国語大学	58	56	4	4	4	4	62	60	62	60		
9 京都外国語短期大学	17	17	0	0	0	0	17	17	17	17		
10 京都学園大学	50	45	21	21	21	21	71	66	71	66		
11 京都教育大学	23	21	3	3	3	3	26	24	26	24		
12 京都経済短期大学	11	9	8	8	8	8	19	17	19	17		
13 京都光華女子大学	28	28	0	0	0	0	28	28	28	28		
14 京都光華女子大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
15 京都工芸繊維大学	83	83	12	12	12	12	95	95	95	95		
16 京都繊維芸術大学	14	14	0	0	0	0	14	14	14	14		
17 京都嵯峨芸術大学短期大学部	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1		
18 京都産業大学	548	489	44	44	44	44	592	533	592	533		
19 京都女子大学	278	267	4	4	4	4	282	271	282	271		
20 京都女子大学短期大学部	4	3	0	0	0	0	4	3	4	3		
21 京都市立芸術大学	4	4	0	0	0	0	4	4	4	4		
22 京都精華大学	40	40	0	0	0	0	40	40	40	40		
23 京都西山短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
24 京都造形芸術大学	12	12	0	0	0	0	12	12	12	12		
25 京都橘大学	16	16	0	0	0	0	16	16	16	16		
26 成美大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
27 京都ノートルダム女子大学	6	6	1	1	1	1	7	7	7	7		
28 京都府立大学	29	28	1	1	1	1	30	29	30	29		
29 京都府立医科大学	3	3	0	0	0	0	3	3	3	3		
30 京都文教大学	34	33	0	0	0	0	34	33	34	33		
31 京都文教短期大学	2	2	0	0	0	0	2	2	2	2		
32 京都薬科大学	28	28	2	2	2	2	30	30	30	30		
33 種智院大学	14	14	0	0	0	0	14	14	14	14		
34 成安造形大学	10	9	1	1	1	1	11	10	11	10		
35 京都聖母学院短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
36 同志社大学	171	164	10	5	181	169	181	169	181	169		
37 同志社女子大学	144	137	8	8	152	145	152	145	152	145		
38 花園大学	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1		
39 佛教大学	79	74	15	14	94	88	94	88	94	88		
40 平安女学院大学	19	19	4	4	23	23	23	23	23	23		
41 平安女学院大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
42 明治国際医療大学	4	4	21	21	25	25	25	25	25	25		
43 立命館大学	3,377	3,057	156	156	3,533	3,213	3,533	3,213	3,533	3,213		
44 麗谷大学	281	266	12	12	293	278	293	278	293	278		
45 麗谷大学短期大学部	8	8	0	0	8	8	8	8	8	8		
46 早稲田大学	11	11	0	0	11	11	11	11	11	11		
47 昭和女子大学	3	1	0	0	3	1	3	1	3	1		
48 昭和女子大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
49 京都華頂大学	5	4	0	0	5	4	5	4	5	4		
50 京都美術工芸大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
51 成美大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計	5,493	5,039	330	324	5,813	5,363	5,813	5,363	5,813	5,363		

2011年度 (前期登録)		2011年度 (追加登録)		2011年度 (前期+追加登録)	
出願者 合計	履修可 者数計	出願者数	履修可 者数	出願者数	履修可 者数
2	2	0	0	2	2
37	35	0	0	37	35
0	0	0	0	0	0
58	58	0	0	58	58
0	0	0	0	0	0
2	2	0	0	2	2
5	5	0	0	5	5
85	82	2	2	87	84
11	11	4	4	15	15
107	101	5	5	112	106
41	41	2	2	43	43
19	18	0	0	19	18
32	31	0	0	32	31
4	4	0	0	4	4
89	85	1	1	90	86
23	22	0	0	23	22
1	1	0	0	1	1
478	447	37	37	515	484
354	348	3	3	357	351
28	28	0	0	28	28
37	34	0	0	37	34
39	36	0	0	39	36
0	0	0	0	0	0
21	20	0	0	21	20
10	10	0	0	10	10
0	0	0	0	0	0
36	35	1	1	37	36
30	30	1	1	31	31
0	0	0	0	0	0
27	27	0	0	27	27
4	4	0	0	4	4
90	88	0	0	90	88
3	3	0	0	3	3
23	19	0	0	23	19
0	0	0	0	0	0
204	201	7	7	211	208
142	140	1	1	143	141
14	13	1	1	15	14
46	45	5	5	51	50
27	27	0	0	27	27
0	0	0	0	0	0
16	16	0	0	16	16
3,237	2,931	273	273	3,510	3,204
246	240	38	37	284	277
13	13	0	0	13	13
9	9	0	0	9	9
2	2	0	0	2	2
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
5,652	5,264	381	380	6,032	5,644

コーディネート科目に関するガイドライン

1. コーディネート科目とは

単位互換制度の中にあつて、コーディネート科目とは、「従来の学問分野の枠組みを超えた新領域の科目（複合領域分野）や実社会の当事者より最新の情報を学ぶ科目群（21 世紀学分野）、または京都について多角的に研究する科目群（京都学分野）を、加盟大学・短期大学や本財団が戦略的に企画立案し、新規に開設する科目」を指す。

コーディネート科目は、原則、キャンパスプラザ京都で開講し、単位互換に関する包括協定締結大学・短期大学の学生に開放する。

なお、科目開設にあたり、公益財団法人大学コンソーシアム京都（以下、本財団という。）では、所定の支給基準（詳細は開設補助金等支給基準を参照）に沿って、科目開設補助金およびコーディネート費用を支給するほか、学生にはコーディネート科目の受講推奨を行っている。

2. コーディネート科目開設基準

上記枠組みで提供される新規コーディネート科目の開設可否については、本財団内で審議のうえ決定する。2009 年度以降については本財団の教育事業部会議の中に「単位互換事業高度化検討ワーキンググループ」（以下、TGWG という。）を設置し、その中で審議・決定を行い、単位互換に関する事務担当者会議に報告することとする。

なお、新規コーディネート科目の開設基準は次の通りとする。

- (1) 京都学、21 世紀学、複合領域のうち、いずれかの分野の科目となること
- (2) ゲストスピーカーを招いたチェーンレクチャー、実習やフィールドワークを取り入れるなど、特色ある科目となること。
- (3) 原則として、キャンパスプラザ京都を会場とすること（プラザ科目となること）。
 - ①実験・実習を伴うなど、科目開設大学を会場としなければならない場合等は、科目開設大学等を会場とすることができる。
 - ②プラザ科目の場合、会場費（ビデオ、教材提示装置などの機器使用料を含む）は、本財団が負担する。
 - ③使用機器などについては、別途申請（事前相談により予約）を必要とする。
- (4) 原則として同一大学、同一科目名称で3年間開設すること（サブタイトルの変更は可）。
 - ①コーディネート科目は開設期間3年で一旦終了する。その後の継続については、原則として、コーディネート費用の支給対象とならない持出科目となる。
 - ②科目開設大学が異なる場合は、同一内容であっても3年を超えて依頼（申請）することができる。
 - ③科目名称の大幅な変更は別科目とみなし、原則として継続を認めない。新規科目として対応する。ただし、担当者および内容がほとんど同じ場合でも、やむを得ない事情があると TGWG が認めた場合に限り、科目名称の大幅な変更を行うことができる。
 - ④2年間しか継続できないことがあらかじめ判明している場合は申請書にその旨記載する。

⑤ 3年を超えて再度コーディネート科目として申請する場合は、リニューアルするべき科目かどうかの審議を行う。

- ・履修者数
- ・単位修得率
- ・授業評価アンケート等の学生満足度
- ・リニューアル内容が時代の要請に込えているか

等から総合的に判断する。

(5) コーディネート科目の開講形態は、半期・集中・通年のいずれかとする(90分×15コマ程度)。

(6) 授業定員は、単位互換履修生のみでなく、京カレッジ生についての枠も設けることが望ましい(科目開設大学が所属学生の優遇を行う場合は定員の1/3までとする)。

(7) 科目開設の5つのパターン

新規コーディネート科目の開設に際して、開設パターンの枠組みを次のとおり設定する。これらが複合的に関係する場合も想定されるが、上記のコーディネート科目の趣旨にふさわしい内容であれば枠組み自体は問わない。

①教員提案型

加盟大学担当教員から自身の研究テーマなどで新規に開設したい科目を提案いただき、コーディネート科目としての設置を認めるもの。

②パッケージ化領域開発型

本財団では単位互換科目について、既存の多様な科目を分野別・体系別にまとめて提示し、興味ある分野を系統立てて学べる「パッケージ化」の仕組みを設けている。これらのパッケージ分野において該当科目の少ない分野・領域について、本財団より各大学や教員に対して科目開設を働きかけるもの。

③寄附講座型

大学での寄附講座と同様、企業などが科目開設にかかる諸費用を提供し、企業などが学生に理解を深めてほしいテーマ・分野について新規科目を開設するもの。

④大学要望型

自大学では開設の条件が厳しいが、現在の学生や社会のニーズにふさわしいテーマについて本財団が要望を受け、関係する大学や教員等に科目開設の働きかけを行うもの。

(8) 学則に定めのある科目として開設すること。

3. コーディネート科目開設のフロー

(1) 科目開設のご提案

科目開設を希望される大学等(担当教員)は、所定の「コーディネート科目」新規開設提案書(以下、提案書という。)を開講前年度の7月末までに本財団へ提出する。

- ・上記期間外にご提案される場合は、事前に本財団事務局に相談願います(他のご提案状況を考慮して受付について判断する)。

(2) 財団審議

本財団は、ご提案内容を TGWG にて審議し、開設が望ましいと判断した場合、大学長へ新規コーディネート科目開設の依頼を行う（予算・科目数を考慮して可能な限り開設を依頼する）。

特定の大学に開設科目が集中した場合等、本財団は科目内容に関わらず、大学間の調整を行うことがある。

(3) 開設許可後の学内諸手続

その後、科目開設大学において学内手続を行う（大学ごとに手続内容は異なるため、その内容については、学内の規程に従っていただく）（原則、10 月中）

(4) 学内手続完了報告

学内手続完了後、本財団事務局にその旨を報告（原則、11 月初旬迄）

(5) シラバス入力

次年度シラバス作成のため、開講科目情報をシステムに入力（1 月末日迄／厳守）

4. 継続について

2 年目以降の継続については、原則として、本財団より開講前年度の後期授業開始までに継続依頼を行う。

5. 関係者の役割分担

(1) コーディネート科目担当教員

- ・ 科目開設のための学内手続
- ・ シラバス作成（コースデザイン）
- ・ 各回講師人材の選任と確保（コーディネート業務含む）
- ・ 授業の実施（全ての回への出席の必要はないが、その場合は各回講師と授業進行・運営について事前に調整が必要。休講・補講等の教務系の諸連絡を含む。）
- ・ 講師への謝金支払の学内手続
- ・ 成績判定

(2) 科目開設大学

- ・ 科目開設（シラバス情報の本財団への提供等も含む）
※学則に定める科目としての開設が前提となります。
- ・ 寄附受入（寄附講座型の場合のみ）
- ・ コーディネート担当教員を含め、各講師へのノルマカウント・給金・謝金の支出
- ・ 担当講師への出講案内
（ただし、大学によってはこの業務を担当教員に任される場合もあるため、詳細は学内で役割分担をご検討ください）
- ・ 学生に対する各種教務連絡（休講、補講、教室変更、試験・レポート情報等）
- ・ e 京都ラーニングを通じた休講情報等の公開

(3) 関係する諸団体（寄附講座などの場合）

- ・ 科目開設・実施に係る費用の寄附（対科目開設大学）
- ・ 必要に応じて科目開講における講師派遣等の協力
- ・ 必要に応じて科目の内容・シラバスについて担当教員と調整

(4) 大学コンソーシアム京都

- ・ 科目開設の発案及び関係教員・大学・諸団体への働きかけ・諸調整
- ・ 科目開設にかかる加盟大学等からの要望聴取
- ・ 科目開設大学及び科目担当教員との各種調整
- ・ 科目開設に向けた教室手配や学生への周知・広報
- ・ 科目開設大学が発信する教務連絡の包括協定締結大学・短期大学への周知協力

6. 経費について

(1) 科目開設補助金等

本財団は所定の基準に基づき、科目開設補助金やコーディネート費用を支給します。支給金額や支給先、対象経費については「科目開設補助金等支給基準」、「コーディネート費用取扱要項」をご確認願います。

※企業・団体などからの寄附による講座については持出科目扱いとし、科目開設補助金 5 万円（半期 1 科目）を本財団から支出するが、コーディネート費用については支給しない（相当分については、大学と企業の間で調整を行ってもよい）。

(2) 科目開設補助金およびコーディネート費用の金額（基準）について

科目開設補助金およびコーディネート費用の金額（基準）については、本財団の予算を考慮して TGWG の審議を経て決定し、「単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議」で報告する。

7. コーディネート科目に関するガイドラインの見直し・修正について

本ガイドラインは、必要に応じて TGWG で見直し・変更を行う。

8. 実施時期について

本取り決めは、2009 年 4 月から実施する（2010 年度科目の開設準備のため）。

以上

2014 年度

「コーディネート科目」新規開設提案書

公益財団法人大学コンソーシアム京都 御中

以下のとおり提案します。

応募日：2013 年 月 日

科目名（仮）				
募集テーマ (いずれかに○)	() 複合領域分野 () 京都学分野 () 21 世紀学分野			
開講形態 (いずれかに○)	() 前期 () 集中 () 後期 () 通年			
受講定員	合計[] 名 内 単位互換[] 京カレッジ[] 名			
申請大学名				
科目担当教員	所属		(ふりがな) (氏名) 印	
	TEL		FAX	
	Email			
事務連絡先	部署		(ふりがな) (氏名)	
	住所	〒		
	TEL		FAX	
	Email			

1. プログラムの概要 今回申請されているプログラムの要点・特徴（受講者向けのアピールポイント）を 200 字以内で記入して下さい。

2. 授業実施スケジュール（授業実施準備段階含む）

日程	実施項目

3. 曜日・時間帯（希望があれば）

* 受講生の参加が見込める曜日・時間での開設をご検討ください。

曜日	時間帯	〇時～〇時

4. 授業実施体制

[授業担当者例]

氏名	所属・役職	授業の担当・役割

（事務局記入欄）

受付日	書類確認	備考	確認者

以 上

個人情報の取り扱いについて：ご提出いただいた資料およびご記入いただいた個人情報は、選考、運営ならびに情報提供の目的で事務局が利用し、適切に管理致します。

2013 年 7 月 12 日第 1 回 TGMC 事務担当者会議
単位互換事業にかかわる連絡事項について

1. 2014 年度単位互換科目の出願スケジュールについて

		2014 年度
前期募集	出願期間	3 月 27 日（木）～4 月 10 日（木）
	成績番号入力	4 月 17 日（木）17:00
	可否結果発表	4 月 18 日（金）5:00 以降
追加募集	出願期間	5 月 22 日（木）～6 月 5 日（木）
	成績番号入力	6 月 12 日（木）17:00
	可否結果発表	6 月 13 日（金）5:00 以降
後期募集	出願期間 【web 限定】	9 月 11 日（木）～25 日（木）
	成績番号入力	10 月 2 日（木）17:00
	可否結果発表	10 月 3 日（金）5:00 以降

2. 今後の単位互換事業の展開について（予定）

2014 年度以降の単位互換事業について以下の通り、高度化を図っていきます。

（1）単位互換事業の広報 【資料6-1】

広報にかかわって、リーフレットとホームページを作成します。是非とも履修ガイダンスや各学部にて配布していただきますよう、よろしくお願いいたします。

（2）単位互換履修生募集ガイドの方向性【資料6-2】

2014 年度から従来の募集ガイドから機能を（1）手続きや科目一覧は PDF 化し、ホームページに掲載、（2）シラバスは e 京都ラーニング上で確認、（3）特色のある科目等に対する告知広報、の 3 点に分化させていきます。

（3）単位互換科目におけるアンケートの実施について【資料6-3】

2014 年度の単位互換制度に関しては授業アンケートをウェブにて実施する予定をしています。プラザ科目についてはウェブで実施するかどうかについては現在検討中ですが、別紙のとおり、取り組みを予定しておりますので、ご協力のほどお願いいたします。

以上

2014年度以降の 単位互換事業の 高度化に向けて

2013年5月28日第1回単位互換事業WG
2013年7月2日第2回単位互換事業WG
2013年7月12日第1回TGMC事務担当者会議

■単位互換事業の課題

□単位互換制度の認知向上

参加学生は5千人を超えているが、また制度自体の認知もまだ少ない。

□単位互換制度の指標の明確化

50大学・540科目・5千人の学生参加であるが、量から質の転換を図る時期にきている。
『学生の満足度』を可視化できるような新規指標を必要。

□完全デジタル移行(アンケート、募集ガイド)

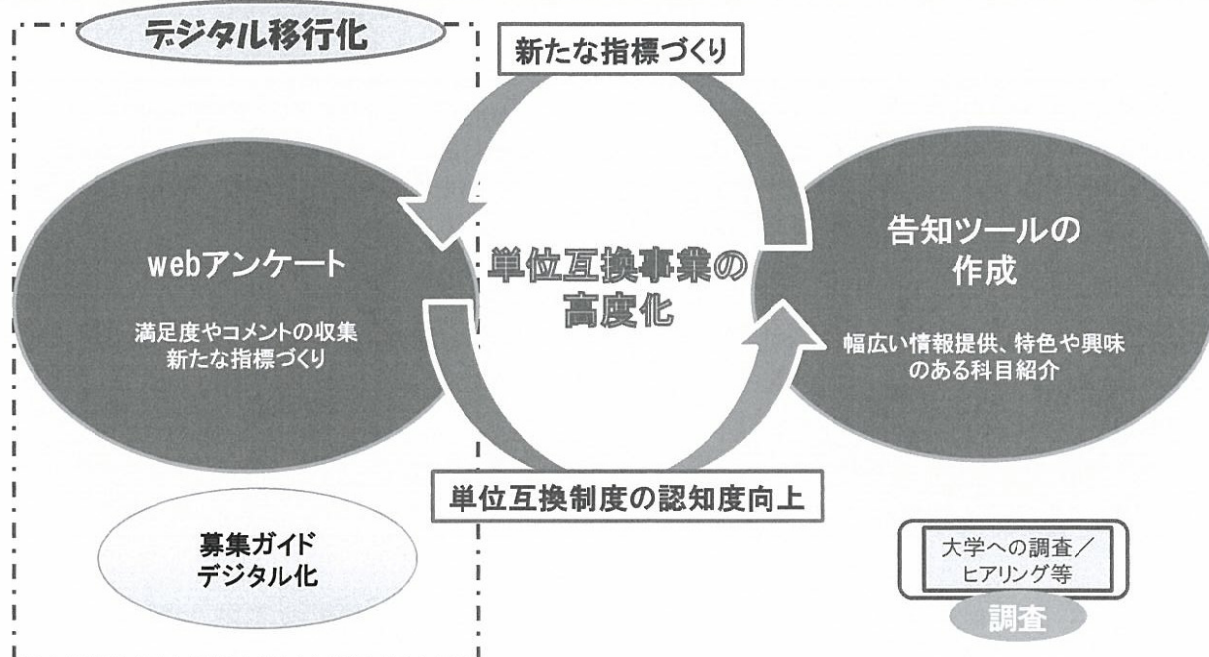
アンケートをデータ化し満足度やコメントを測り、それらを単位互換事業や広報へ活かす。
募集ガイドの印刷部数は削減しているが、完全なデジタル移行はできていない。



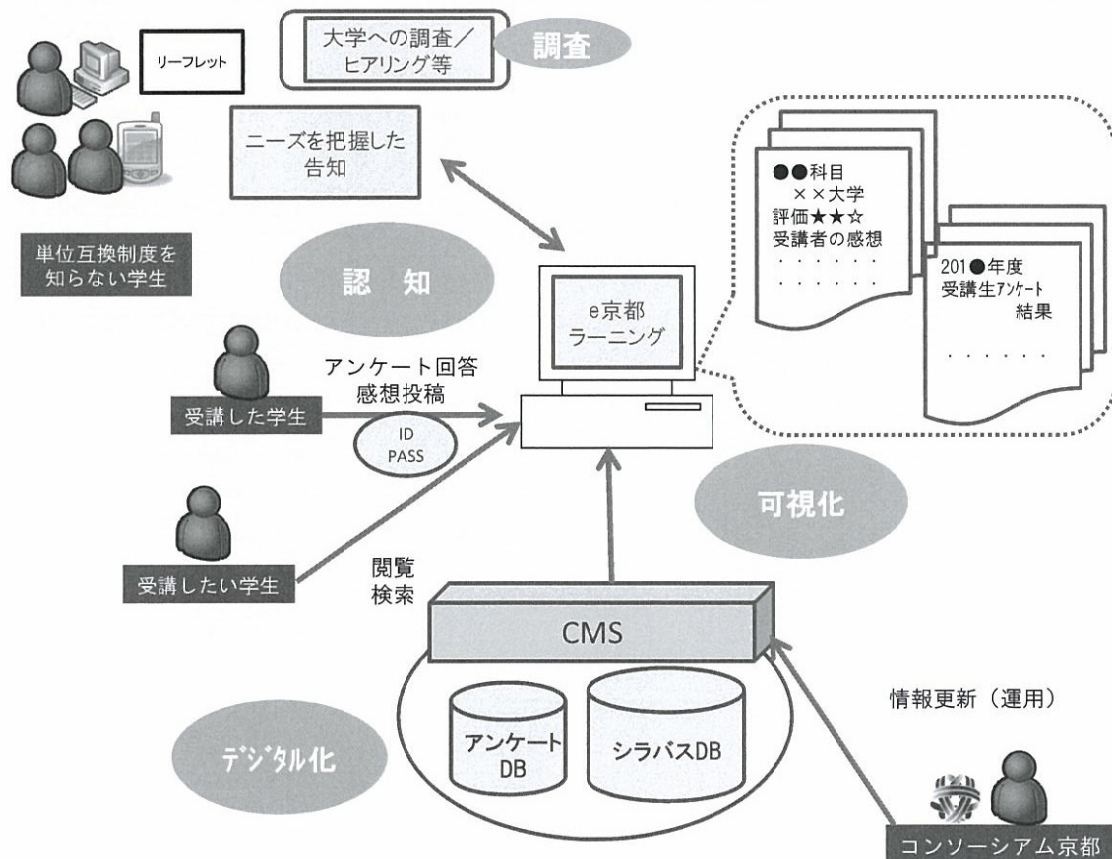
単位互換事業の高度化につなげる

- 参加学生の科目を受講した満足度やコメントの活用。
- デジタル移行により学生のダイレクトな意見を可視化し、質的データを確認。
- 質的データより特色・興味のある科目の把握と学生への告知。

※併せて大学の調査・ヒアリングの実施



■詳細イメージ



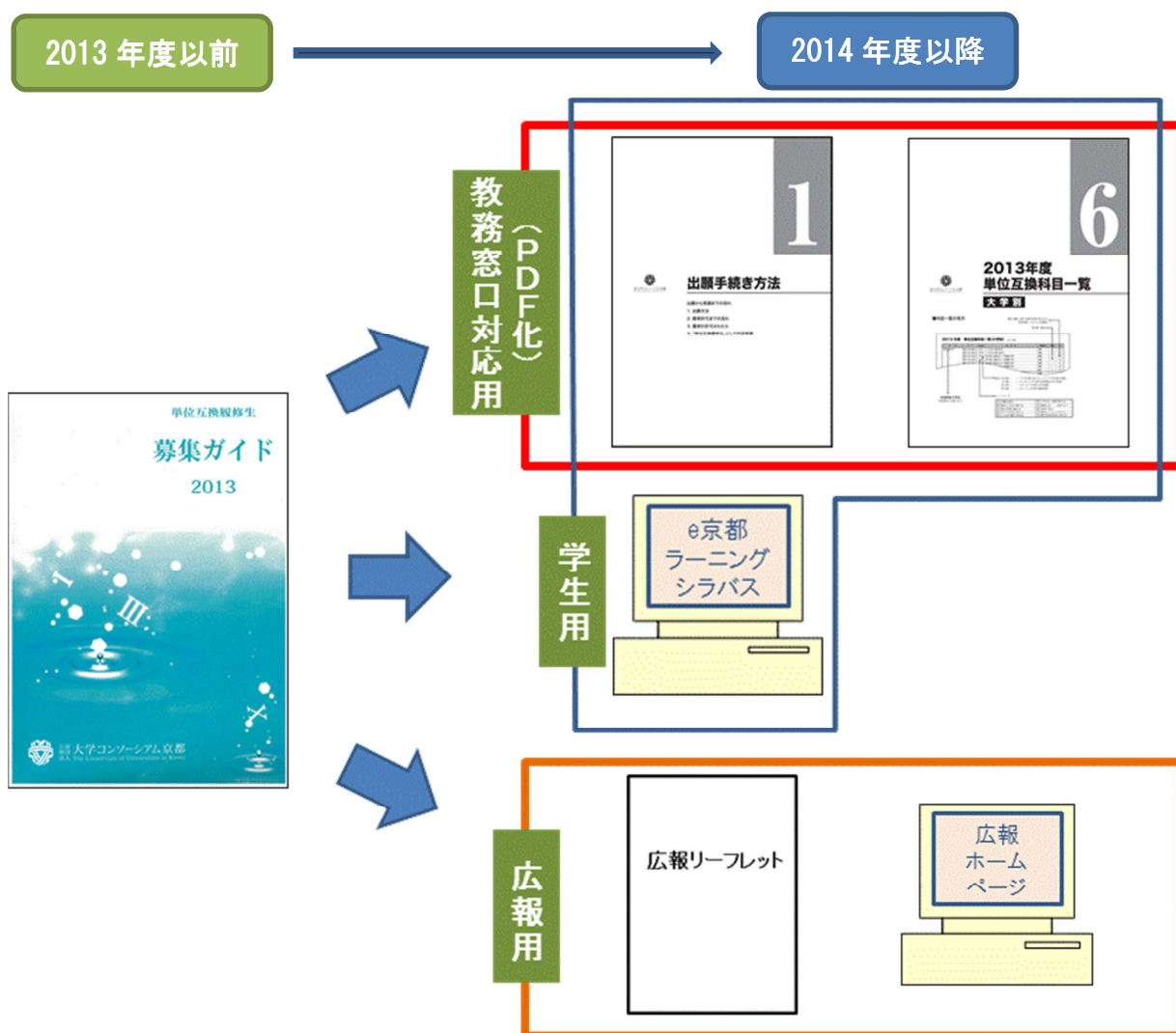
2013 年 7 月 12 日 TGMC 担当者会議

2014 年度からの単位互換履修生募集ガイドとアンケートの扱いについて（案）

2014 年度から単位互換にかかわる募集ガイドおよびアンケートの扱いについて以下のとおり、変更を行う。

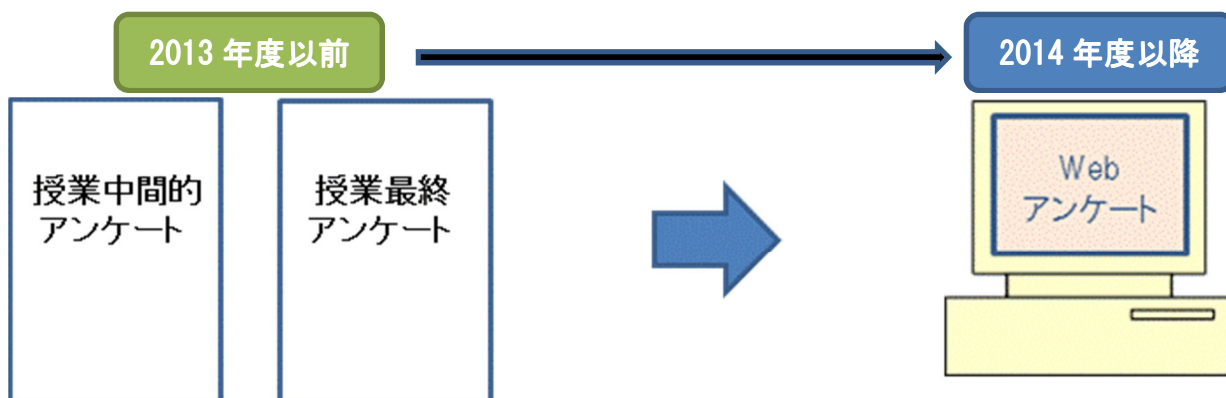
1. 募集ガイド

2014 年度から従来の募集ガイドから機能を（１）手続きや科目一覧は PDF 化し、ホームページに掲載、（２）シラバスは e 京都ラーニング上で確認、（３）特色のある科目等に対する告知広報、の３点に分化させる。



2. 授業関連アンケート

紙ベースでとっていたアンケートについて Web アンケートにて移行する。



以上

プロモーション概要①

ターゲット	プロモーションツール	フェーズ別目的
学生	学生がより詳細の科目内容を知るために特設Webを構築。＜拡販展開としてSNSを検討＞ ホームページ  ○特徴的な科目紹介 ○満足度・コメント ○体験記 など → ソーシャル連携(今後要検討) f t l You 話題・評判の形成	参加 浸透・共有 理解
大学教学課 学部教務課	学部教務課にて、学生に目に付くカウンターに設置、配布できるツールセットを準備 リーフレット  配架台 	興味・関心 認知

プロモーション概要②



印刷物

大学内ポスター、配布用チラシ、ガイドブックなど、やる気を刺激するコンテンツでWebサイトへ誘導

プロモーションサイト

単位互換制度のスペシャルサイトを用意。
体験者レポートや人気講義の紹介、講師からのコメントなど、リッチなコンテンツで、さらにやる気を刺激

.....>
キャンペーンを継続

e京都ラーニング

履修対象大学や履修年次など、より多くの条件で検索できるように機能を強化
MYページを追加し講義内容の比較検討ができるなど、より受講につながる機能を追加

Facebook

動画配信

Facebook

単位互換制度のFacebookやYoutubeやU-Streamのチャンネルを開設。
印刷物やWebサイトと連動して「いいね」や「コメント」で情報の拡散と共有
参加できる単位互換制度にすることで受講者の満足度を向上

チラシもしくはリーフレット案

いつものキャンパスだけでは、
出会えないことがある。
51大学で学べる単位互換制度。
みやこCampus
詳しくはWebで。
京キャン

出願期間
4月 6月 9月

大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

表紙はメインビジュアルとキャッチコピーに加え、出願機会を大きく表現。ひと目で魅力と期間が分かることで、意欲のある学生の取りこぼしを最小限に抑えます。

工学部の授業だけでは手に入らなかった、貴重な体験や友人ができました。
●●大学 工学部 1 年生 阿部 弘之

工学部の授業だけでは手に入らなかった、貴重な体験や友人ができました。
●●大学 工学部 1 年生 阿部 弘之

単位をチェンジ。可能性にチャレンジ。

「座席」の授業があるなんて！
教授ならではの貴重な体験です。
立命館大学 法学部 3 年生 中島 真由美

「座席」の授業があるなんて！
教授ならではの貴重な体験です。
立命館大学 法学部 3 年生 中島 真由美

51大学で学べる。10テーマ540科目から選べる。

A 京都（みやこ）を知る	まちの学（1社）全日本学生自治会連合会（連合） 京都学入門
B 歴史と文化に触れる	アニメ文化論 / 民族音楽学 b / 経緯文化論 A・B
C 美の世界に触れる	デザイン論 / 写真論 / 舞台芸術概論
D 文学の世界に触れる	京都の文学 / 英語で読む日本文学 / 映画論：女性映画
E こころの魅力を伝える	カネサキの基礎 / 自己表現 / アイス・ダンス・パフォーマンス入門
F いのちと人を知る	子どもへのまなざし / コーピング論 / 看護入門 B
G 教育とは、何だろう	ピア・ラーニング / 学級・授業 / 子どもと音楽
H 自然に学ぶ	森林環境学 / 自然と都市学入門 / 学芸論 A・B
I 環境と暮らしを考える	まちづくり論 / 環境教育 / 京都府自然環境 / 公害学
J 現代社会を知る・考える	21世紀の企業戦略 / 地球防災工学 / AIの応用

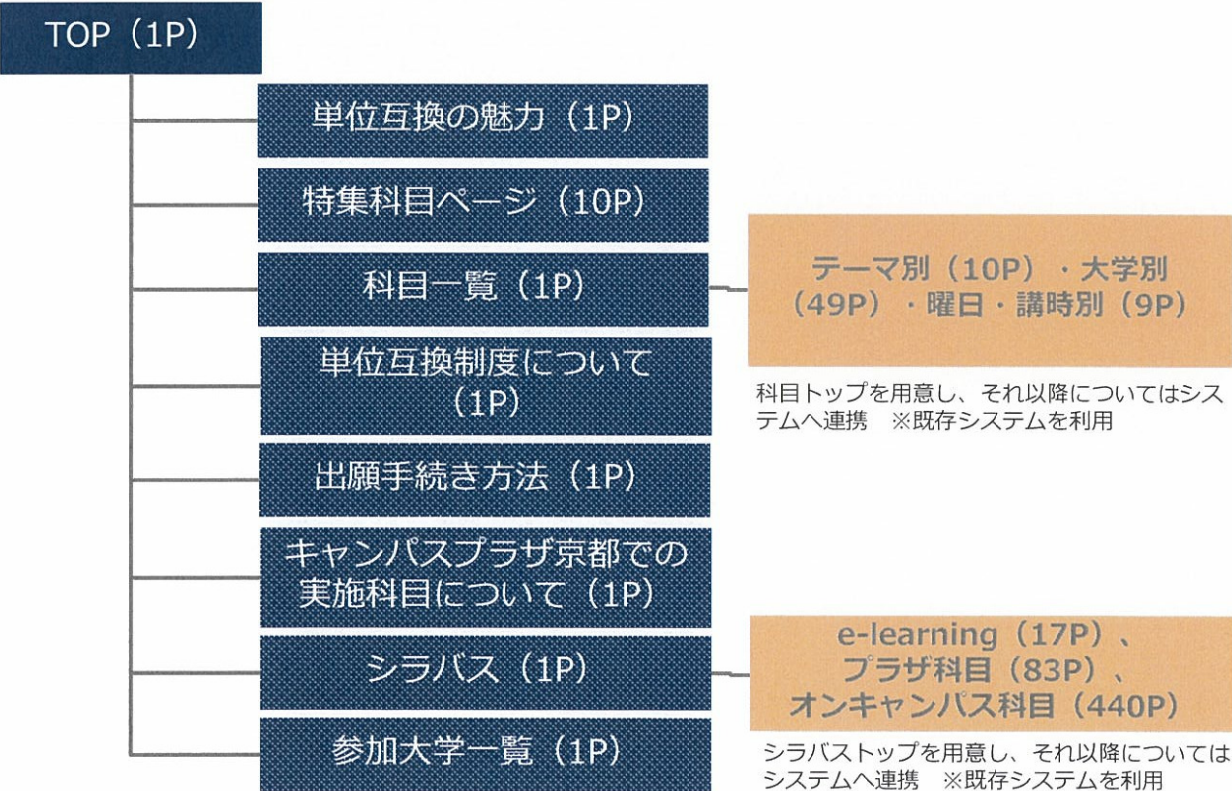
登録校は3パターンのみ
■オンキャンパス科目 ■プラザ科目 ■eラーニング科目

大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

〒600-8216 京都府京都市下京区西院通堀小路下 京キャン・プラザ京都
TEL:075-353-9120 ※月曜日は休館日です。 <http://www.consortium.or.jp>

特長あるユニークな学びを実際の声を通じて紹介し、単位互換制度への関心度をさらに高めます。より詳しい内容はWebへ効果的に誘導します。

WEBコンテンツ案①



WEBコンテンツ案②

キーワードは「学生が興味を引くキーワードと見せ方！」
～文字と写真で見せる～

特徴的な科目にスポットを当て、その科目に訴求のありそうなキーワードと写真で展開。

学生は、興味のある科目に遷移することができる。

※各カテゴリー毎で科目を選定。選定についてはコンソーシアム京都で選定（各カテゴリー3科目を選定）



カテゴリーから
セグメント可能

【カテゴリー】

- 京都を探る 編
- 歴史・文化・美に触れる 編
- 文学・言葉の魅力 編
- いのちと人間 編
- 教育 編
- 自然と環境 編
- その他 編



※写真とコピーで表現。
(参考：広島県)

3

WEBコンテンツ案③

科目を実際に体験した学生の目線で、取材風に表現いたします。

例えば、妖怪文化論であれば・・・

※雑誌風 中ページイメージ

「理工系女子大生」×「妖怪」

立命館大学理工学部的女子が妖怪に出会った。

＜掲載内容について＞

- 京都一条妖怪ストリートにて撮影
(授業に関係する場所)
- なぜ授業を受けるのか？
- 受けてみてどうだったか？
- 授業の魅力
- 一言



※ページ毎でその特集ページをpdf化できるものとする

4

2013 年 7 月 12 日第 1 回 TGMC 事務担当者会議

アンケートシステムの活用促進について

授業アンケートを紙ベースのものからシステムに移行するにあたり、これまではプラザ科目のみで実施していたアンケートについて、今後は単位互換の全授業を対象とする。そのため、各大学へ協力をしてもらったうえで、授業アンケートの回収率を高めていくことが重要となる。そこで、以下の 5 点の対応を実施する。

1. 意図の明示

答えたアンケートやコメントが次年度のホームページや広報物に掲載されることを学生に伝える。また、学生からの自らのコメントや満足度等が次年度以降の受講者・後輩の参考となる旨を明示する。

2. 無回答者追跡

アンケートを送付していない学生については e 京都 INFO の活用および各大学に協力を要請し、追跡することによって記入を促進する。

3. 各大学の協力

各大学に協力してもらえるように担当者会議等で説明を行い、協力を仰げる場所は享

4. 学生の周知時期の工夫

学生が最も確認する試験のタイミングにおいて試験関連情報(各大学ウェブ、e 京都ラーニング、掲示板など)や学生が使用している e メールに情報を流し、学生の認知を高めていく。

5. 懸賞制度

授業アンケート<授業体験記・コメント含む>に回答してもらった単位互換生を対象として懸賞を行う。懸賞に当選した学生については次年度のパンフレットもしくはホームページに可能な限り、体験記・コメントを掲載する。なお、これまでの表紙大賞に使っていた 50,000 円を基本の原資とする。

【懸賞内容（計 50,000 円）】

景品	本数
QUO カード 500 円分	100 本

以上

単位互換・京カレッジ履修生による授業評価アンケート

該当する番号に○をつけてください。

科目名： _____

		①そう 思う	②そう 思わな い	③わか らない	
問1. 単位互換・京カレッジ募集ガイドにおいて、該当科目の「講義概要、到達目標、講義スケジュール、試験・評価方法」の項目を読み、理解できましたか。	【	1	2	3	】
問2. 先生の授業は、単位互換・京カレッジ募集ガイドの「授業計画」どおりに進められていますか。	【	1	2	3	】
問3. 先生の授業の進む速さは適切ですか。	【	1	2	3	】
問4. 先生の授業は聞き取りやすいですか。	【	1	2	3	】
問5. 先生の板書やパワーポイント、OHCなどの機器を使うことにより、授業はわかりやすくなりましたか。	【	1	2	3	】
問6. あなたは教科書や配布資料等で授業内容を理解するのに役立っていますか。	【	1	2	3	】
問7. あなたは授業担当者の熱意を感じられますか。	【	1	2	3	】
問8. あなたにとって学習に適した環境ですか（教室の広さ・私語や騒音の有無）	【	1	2	3	】
問9. あなたは授業の内容を理解できていますか。	【	1	2	3	】
問10. あなたにとってこの授業の難易度は適切ですか？	【	1	2	3	】
問11. あなたにとってこの授業の課題分量は適切ですか？	【	1	2	3	】
問12. あなたはこの授業に積極的に取り組んでいますか。	【	1	2	3	】
問13. あなたはこの授業で新しい知識・技能の習得に役立っていますか？	【	1	2	3	】
問14. あなたは総合的にみてこの授業に満足していますか。	【	1	2	3	】
問15. その他授業について、お気づきな点があればご記入ください。					

単位互換制度アンケート（学生アンケート）

2013 年度公益財団法人大学コンソーシアム京都

単位互換制度のニーズを探り、魅力ある制度づくりの参考に使用します。是非とも、ご協力ください。

該当する項目に☑印もしくは記入をしてください。

1. 所属大学	() ☐大学 ☐短期大学	2. 学年	() 回生	3. 性別	☐男 ☐女
4. 科目名		5. 過去の単位互換を受けた回数	☐なし ☐ () 回		

①単位互換履修生制度はいつ知りましたか？ ☐入学前 ☐入学後 () 回生時

②. この制度をどのようにして知りましたか？（複数回答可）

☐所属大学(☐窓口 ☐ガイダンス) ☐知人・先輩から聞いて ☐募集ガイド ☐パンフレット
☐ホームページ ☐コンソーシアム ☐大学案内 ☐その他 ()

③. 大学によって単位互換科目に「追加出願（6月）」・「後期出願（9月）」があるのを知っていますか？

追加出願（6月） ☐知らない ☐知っている (☐募集ガイドで ☐掲示で ☐その他)

後期出願（9月） ☐知らない ☐知っている (☐募集ガイドで ☐掲示で ☐その他)

④. 興味のあるテーマ（分野）は何ですか？（複数回答可） ※以下は単位互換科目が設定している 10 テーマ

☐京都を探る ☐歴史と文化に触れる ☐美の世界に触れる ☐文学の世界に触れる
☐ことばの魅力を知る ☐いのちと人間を考える ☐教育とは…何だろう ☐自然に学ぶ
☐環境とくらしを考える ☐現代社会を知る ☐その他 ()

⑤. どんな科目を履修したいですか。具体的に記入してください。（例：〇〇大学〇〇先生〇〇科目 など）

⑥. 科目を履修する場合、いつ履修したいですか？（複数回答可）

☐平日 ☐土曜日 ☐日曜日 ☐夏期集中（夏期 8～9 月） ☐ 春期集中（春期 2～3 月）

⑦. **龍谷・立命生以外**。京都ラーニングでの web 出願はスムーズでしたか（ID 作成、履修登録、出願票印刷など）

☐簡単であった（特にマニュアルなど不要であった） ☐少し迷ったができた（マニュアルを見ながら）
☐一人ではできず誰かに手伝ってもらった ☐その他 ()

⑧. **龍谷・立命生以外**。京都ラーニングの感想、改善点等がありましたら、お聞かせください。

⑨. 今回履修した科目につき、各項目の満足度を教えてください。 満足度<高 4← →1 低>

進行速度	☐4 ☐3 ☐2 ☐1	授業分量	☐4 ☐3 ☐2 ☐1	教材・配布資料	☐4 ☐3 ☐2 ☐1
授業内容	☐4 ☐3 ☐2 ☐1	今後の学習への役立ち	☐4 ☐3 ☐2 ☐1	全体満足度	☐4 ☐3 ☐2 ☐1

⑩. この科目を履修した志望動機を教えてください。（最も強い動機をひとつ回答してください）

☐科目内容が魅力的だった ☐大学カリキュラムの必須科目 ☐卒業必要単位修得のため
☐科目名が魅力的だった ☐時間的に都合が良かったため ☐単位修得しやすそうだった
☐先輩・仲間・教職員の勧め ☐他大学教員・学生との交流 ☐場所が通いやすかった
☐その他 ()

⑪. 今回履修した科目の感想・要望をお聞かせください。

⑫. 総合的に単位互換制度は満足されましたか？

☐満足 ☐やや満足 ☐やや不満 ☐不満

⑬. また今後、単位互換を受けたいと思いますか？

☐はい ☐いいえ

⑭. あなたの所属大学または大学コンソーシアム京都に対する意見・要望があればお聞かせください。

所属大学への意見・要望	大学コンソーシアム京都への意見・要望
-------------	--------------------

2013 年度 京カレッジ生出願状況について

1. 募集概要

受付期間：2013年3月9日（土）～3月23日（土）

出願方法：郵送、持参、WEB 出願

募集コース：

- | | |
|---------------|--------------------------|
| ①大学正規科目（A～J） | 単位修得が可能な講座 |
| ②市民教養講座（K） | 健康・芸術・文化など幅広く学べる講座 |
| ③キャリアアップ講座（L） | 多様な語学、資格取得など実学が充実した講座 |
| ④京都力養成コース（M） | 地域での社会活動のための力ときっかけを得るコース |

※京都力養成コースの1科目として京都学講座「みやこの表象（すがた）」を大学コンソーシアム京都が提供

2. 広報活動

- ① 財団ホームページに京カレッジ案内掲載（メールによる募集ガイド請求）
- ② 生涯学習サイト「セカンドアカデミー」での京都力養成コース全科目紹介（メールによる募集ガイド請求）
- ③ 過年度の受講者約 2,200 名へDM送付
- ④ 加盟大学・短期大学に募集ガイド配布
- ⑤ 広報用ポスター配布 17 か所（市役所、区役所等）＋地下鉄各駅
- ⑥ 募集ガイド・京都学講座リーフレット配布 23 か所（市役所、市立図書館等）
- ⑦ きょうと市民しんぶん（平成 25 年 3 月 1 日 第 851 号）に案内掲載
- ⑧ 新聞（京都・朝日・読売・毎日 4 紙）での折込みチラシ 40 万枚配布（郵送料財団負担の資料請求はがき付）

3. 科目提供大学数、提供科目数、受講科目数、出願者数

4 月 24 日現在

年度	科目提供 大学数 (注 1)	提供 科目数	出願科目数	出願者数				一人あたり 平均出願科 目数
				＜実数＞ (前期) (後期)		＜延べ数＞ (前期) (後期)		
2013	36 大学 1 機関	428 科目	194 科目	506 名	－	1,074 名	－	2.1 科目
2012	36 大学 1 機関	469 科目	228 科目	600 名	18 名	1,265 名	62 名	2.1 科目
2011	36 大学 1 機関	476 科目	226 科目	582 名	29 名	1,400 名	75 名	2.4 科目

(注 1) 「科目等履修生受入れについての申し合わせ」を締結している大学数とは異なる。

4. 出願方法

出願方法	2013 年度		2012 年度	
	出願者数	割合	出願者数	割合
持参	227	43.9%	284	47.3%
郵送	221	42.7%	226	37.7%
Web 出願	69	13.3%	90	15.0%
合計	517 (注 2)		600	

(注 2) 受付期間内の出願者数。その後の出願取消者等を含むため、最終出願者数とは異なる。

5. 今年度の出願者の内訳について

(1) 年代別出願状況

	男性	女性	合計	割合
10代	1	0	1	0.2%
20代	0	13	13	2.6%
30代	9	13	22	4.3%
40代	15	31	46	9.0%
50代	23	69	92	18.2%
60代	146	96	242	47.8%
70代	55	29	84	16.6%
80代	5	1	6	1.2%
合計	254	252	506	

(2) 出願科目数

科目数	人数	割合
1科目	229	45.3%
2科目	143	28.3%
3科目	70	13.6%
4科目	24	4.7%
5科目	17	3.4%
6科目	12	2.4%
7科目	2	0.4%
8科目	3	0.6%
9科目	3	0.6%
10科目	2	0.4%
11科目	1	0.2%

(3) 科目種目別の科目数及び出願者の内訳について

科目種別	科目数	出願者のあった科目	出願者数 〈延べ数〉	1科目あたりの出願者数
大学正規科目 (A～J)	331 (77.3%)	131 (39.6%)	370 (34.5%)	1.1人
(eラーニング科目)	(8) (1.9%)	(4) (50.0%)	(6) (0.6%)	(0.8人)
市民教養講座 (K)	28 (6.5%)	25 (89.3%)	245 (22.8%)	8.8人
キャリアアップ講座 (L)	61 (14.3%)	30 (49.2%)	55 (5.1%)	0.9人
京都力養成コース (M)	8 (1.9%)	8 (100%)	404 (37.6%)	50.5人
合計	428	194 (45.3%)	1074	

- ・「科目数」、「出願者数」欄の割合は、「合計」に対する割合を示す。
- ・「出願者のあった科目」欄の割合は、科目種別毎の「科目数」に対する割合を示す。
- ・eラーニング科目は大学正規科目の内数を示す。

(4) 京都力養成コース (M) の出願者内訳について

科目名	提供大学	定員	出願者
京料理と発酵調味料	放送大	25	77
「御霊会」とは何か	大谷大	30	30
京のまちなかミュージアム講座	京都外大	15	22
京都の空間美、祭礼のしつらい	京都嵯峨芸大	15	51
京都の歴史・人・産業	京都産業大	30	65
京都の伝統産業の場・もの・ひとから学ぶ	京都造形芸大	16	11
祇園祭	龍谷大	20	47
京都学講座「みやこの表象」	大学コンソーシアム京都	250	101
合計		411	404

6. まとめ

- ・2013 年度京カレッジの出願者数は、前年度比 94 人減の 506 名、延べ人数は 191 人減の 1,265 名となった。一人あたりの平均出願科目数は前年度と同じく 2.1 科目であったものの、2 年連続で出願者数は実数、延べ数ともに減少となった。

- ・2013 年度の出願に向けては上記 2 のとおり広報活動を行った。募集ガイドの請求は約 1,700 件（DM 約 900 件、折込チラシの資料請求ハガキ約 400 件、メール約 250 件、その他電話等 150 件）あり、前年度に比べ 30% 増となったが、今年度の出願者増には結び付かなかった。

- ・出願方法については、持参、郵送が同程度の数となり、システム導入 2 年目となった Web 出願は、前年度と同程度の割合に止まった。現状の Web 出願は、プリントアウトした出願票、写真、卒業証明書を郵送または持参することになっている。

- ・出願者の年代別出願状況は、60 代以上が前年を上回る 65.6% となり、その割合は年々上昇している。

なお、土日開講の科目、講座等は全体の 9.6% となっている。

- ・出願科目数は、1 科目出願者が半数近くを占め、1 度の申込みで複数の大学へ同時に出願できるというメリットがあまり生かされているとはいえない。

- ・科目種目別で提供科目数及び出願者の内訳を見てみると、大学正規科目は 331 科目の提供があり、出願者数は 370 人になった。そのうち一人でも出願のあった科目は 131 科目であったので、大学正規科目では 6 割の科目で出願者がなかったことになる。

それに対して、大学正規科目ではない「市民教養講座」、「キャリアアップ講座」、「京都力養成コース」の科目数は全体の 22% に過ぎないが、全体の約 65% の出願者があった。これら 3 分野の科目は、単位修得を目的とせず、また手続きが大学正規科目よりも簡便となっている。

また、e ラーニング科目については、提供科目数が少ないということもあるが、全体の 0.6%、6 名の出願者しかなかった。

- ・財団が「京都学企画検討委員会」において科目を選定し、科目提供大学には、開設補助金を支給している京都力養成コースについては、ほとんどの科目で定員を上回る出願者があり、8 科目で全体の 37.6% の出願者を得ている。

また、財団が提供している京都学講座「みやこの表象」は 101 名の出願者があった。この講座は毎年テーマが異なるので単純比較はできないが、前年度比 4 割減となっている。

2013 年度 京カレッジ 後期募集の受付について

2013 年度京カレッジで募集した科目のうち、定員に余裕がある科目を対象に以下の概要で後期募集を行います。

1. 後期募集科目の発表：7 月 20 日（土）

2. 出願期間：8 月 17 日（土）～31 日（土）

郵送の場合：8 月 31 日（土）必着

持参の場合：8 月 17 日（土）～31 日（土）9 時～17 時 キャンパスプラザ京都

Web 出願の場合：8 月 17 日（土）～31 日（土）

出願票及びデータを各大学に発送：9 月 6 日（金）

3. 広 報

「2013 年度 京カレッジ後期登録ガイド」で後期募集科目を紹介し、財団ホームページに案内掲載、キャンパスプラザ京都、市役所・市立図書館で配布するほか、市民しんぶんに案内掲載を実施。

2014年度 京カレッジ

京都力養成コース プログラム募集要項

大学コンソーシアム京都は、1997年より京都市と連携して、単位互換制度を活用して大学正規科目を一般市民に開放する生涯学習講座「シティーカレッジ」を開設しました。

2007年度には、より深い生涯学習の機会提供を目指して「京カレッジ」に改編を行い、この中で、京都の地域活性化に貢献する人材を育成することを目的とする「特別コース」を設置しました。2009年度は「特別コース」を「京都力養成コース」へリニューアルを行い、2012年度は8科目が開設されています。

2014年度につきましても、以下のとおりプログラムの募集を行います。採択されたプログラムには、本財団より科目開設補助金を支給し、プログラムの円滑な実施をサポートいたします。本要項をご確認のうえ、社会人に向けた京都らしい、特色ある科目をご応募いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

『京都力養成コース』のメリット

京都地域で活躍する人材を育成するための入門科目（キャンパス外での学習や鑑賞活動を通じて京都活性化のきっかけ作りとなる科目）、もしくはPBL科目（フィールド調査や企画立案実習を通して京都地域に貢献する科目）を京都市・大学コンソーシアム京都が募集します。

1. 採択された科目に対しては、大学コンソーシアム京都より補助金を支給します。
2. 広報・受講生募集活動は、京都市・大学コンソーシアム京都が行うため、大学にとっては経費節減になります。
3. 座学については、キャンパスプラザ京都でもオンキャンパスでの実施でも可能です。
さらにキャンパスプラザ京都で座学を実施する場合、施設使用料・機器使用料は、大学コンソーシアム京都が負担します。

■ 募集する科目

「京都活性化に資する人材を育成するための科目」を以下の二区分にて募集します。

* 区分① 入門科目

キャンパス外での学習や鑑賞活動を通じて京都活性化のきっかけ作りとなる科目。

* 区分② PBL科目

フィールド調査や企画立案実習を通して京都地域に貢献する科目。

(PBLとは、Problem Based Learningの略で、学習者に実際のプロジェクトや擬似的なプロジェクトを体験させることにより、課題解決の手法や能力を修得させる育成手法です。)

<科目の開講>

キャンパス外での学習や鑑賞活動を通じて京都活性化のきっかけ作りとなる科目として、2013年度は以下の科目が開講されています。各科目の詳細な内容は「京カレッジ生募集ガイド」をご覧ください。

- ・「京料理と発酵調味料」(科目開設大学：放送大学)
- ・「京都学講座 みやこの表象(すがた)ーデザインされた都市(まち)ー」(科目開設大学：大学コンソーシアム京都)
- ・「『御霊会』とは何か?ー平安京における信仰の多様性ー」(科目開設大学：大谷大学)
- ・「京のまちなかミュージアム講座～右京区・中京区を中心とした、まちづくり学芸員を目指す～」(科目開設大学：京都外国語大学)
- ・「京都の空間美、祭礼のしつらい美」(科目開設大学：京都嵯峨芸術大学)
- ・「京都の歴史・人・産業ー多様な資料と手法によるアプローチ」(科目開設大学：京都産業大学)
- ・「京都の伝統産業の場・もの・ひとから学ぶ」(科目開設大学：京都造形芸術大学)
- ・「祇園祭ー祭事・伝統・町衆ー」(科目開設大学：龍谷大学)

■ プログラム実施期間

プログラムは2014年度(2014年4月～2015年1月)の期間内に開始し、完了してください。前期と後期にまたがった期間設定も可能です。

なお、出願書類を大学コンソーシアム京都より各大学へ送付するのは3月末日となるため、受講者の選考、結果通知等に要する時間を考慮のうえ、期間を設定願います。

■ 応募資格

本プログラムは、以下のいずれかを満たした団体にのみ応募することが可能です。

- ① 大学コンソーシアム京都に加盟する大学・短期大学
- ② 行政機関、民間機関（NPO/NGO 法人、業界団体など）
- ③ 大学コンソーシアム京都

<注意>

- ・①で応募の場合、採択は1大学あたり2件までとします。
- ・②で応募の場合は、①に該当する団体との連携が必要となります。
- ・同一内容での実施は、原則3年間までとします。

■ プログラム内容の要件

本プログラムは、以下の要件をすべて満たす必要があります。

- ① フィールドワークもしくはPBL（プロブレム・ベースド・ラーニング）を主とし、実践体験を通じて学習を進めるプログラムであること。
- ② 実施期間内に、入門科目は4コマ以上8コマ以下、PBL科目は9コマ以上15コマ以下で授業を実施すること。
- ③ 受講定員は、授業運営に差支えないよう設定すること。
- ④ 受講料は、できうる限り『無料』とし、徴収する場合は実費分のみとすること。

【入門科目の実施例】

- 1日目 … オリエンテーション・基礎学習
- 2日目 … フィールドでの実習⇄連結学習
- 3日目 … フィールドでの実習⇄連結学習

※連結学習では、フィールド実習を行ううえで生じた学習項目について振り返りを行う

- 4日目 … 発展学習⇒研究レポート作成⇒振り返り
- 5日目 … 学習内容を今後活かす方策検討、実践現場へのマッチング ⇒修了

【PBLの実施例】

- 1日目 … 課題解決のためのチームミーティング、PDCAサイクル表の完成
- 2～7日目 … プロジェクトへの参加①～⑥
- 8日目 … 課題成果の中間発表
- 9～14日目 … プロジェクトへの参加⑦～⑭
- 15日目 … 課題成果の発表、まとめ ⇒ 修了

*1日に複数コマ実施することも可能です。

■ プログラム審査基準

本プログラムの採否に際しては、京カレッジ企画検討委員会により以下の項目の審査を行い、本財団の運営委員会にて決定します。

- ① 設定した目標を達成できる講座内容となっているか？
- ② 講座終了時に受講生が地域貢献へのモチベーションを持ちうる内容であるか？
- ③ 計画が具体的か？
- ④ 受講生が集まるような魅力的なテーマであるか？
- ⑤ 入門科目の場合、本プログラムの終了後、京都活性化のきっかけ作りに効果が見込まれるか？
- ⑥ PBL科目の場合、地域の教育力を活用するプログラムであり、本プログラム終了後、京都地域に貢献する人の育成が見込まれているか？
- ⑦ 個性豊かな特色のあるプログラムとなっているか？

■ 募集方法

2014 年度京カレッジ京都力養成コースのプログラム募集方法は、以下のとおりとします。

- ①「京カレッジに関する事務担当者会議」にて、加盟大学・短期大学に募集開始と概要の説明を行います。
- ②財団ホームページ上に募集要項および申請書を掲載します。
- ③その他、京都力養成コースの募集テーマに沿ったプログラムを提供できると判断した団体に対し、個別に働きかけも行います。

■ 申請期間・申請方法

応募される方は、所定の「2014 年度京カレッジ京都力養成コース」申請書に必要事項をご記入いただき、下記申請先まで郵送にてご提出ください（郵送以外の方法による提出は不可）。

なお、2013 年度に開講された科目につきましても、再度ご提出願います。

提出締切日は、2013 年 10 月 15 日（火）必着とします。

■ 科目開設補助金

京カレッジ「京都力養成コース」として開講が決定した科目につきましては、以下のとおり科目開設補助金を支給いたします。

なお、税務処理の関係上、支給先は科目担当者の所属団体となります。

＜支給金額＞

以下の 2 点を合計した金額を支給いたします。

- ①プログラム開設コーディネート料（一律 100,000 円）
- ②講師謝金（33,333 円 × コマ数）

＜経費免除＞

キャンパスプラザ京都で座学を実施する場合は、以下の経費を免除します。

- ①キャンパスプラザ京都における教室使用料
- ②同機器備品使用料（全額）

■ 主催

京都市、公益財団法人大学コンソーシアム京都

■ 申請先・お問い合わせ先

大学コンソーシアム京都 教育事業部 京カレッジ担当

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都

TEL : (075) 353-9140 FAX : (075) 353-9121 E-mail : tg@consortium.or.jp

URL : <http://www.consortium.or.jp/>

【参考】採択決定までのスケジュール

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| 7 月 12 日（金） | 「京カレッジに関する事務担当者会議」にて公募告知 |
| 7 月中 | 財団ホームページ上に公募告知を掲載 |
| 10 月 15 日（火） | 申請書提出締め切り |
| 11 月中旬（予定） | 京カレッジ企画検討委員会にて審査・選考 |
| 11 月下旬（予定） | 選考結果を申請者に書面にて通知 |
| 11 月下旬（予定） | 「京カレッジに関する事務担当者会議」にて審査結果を報告 |

2014 年度 京カレッジ

「京都力養成コース」 申請書

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 御中

以下のとおり応募します。

応募日 : 2013 年 月 日

科目名			
申請団体名			
申請代表者	(役職)	(氏名)	印
連絡責任者	(役職)	(氏名)	
	TEL	Email	
団体連絡先	住所 〒		
	TEL	FAX	
	Email	URL	

(以下、該当する場合はご記入ください。)

連携団体名			
連携団体代表者	(役職)	(氏名)	印
連携団体 連絡責任者	(役職)	(氏名)	
	TEL	Email	
連携団体 連絡先	住所 〒		
	TEL	FAX	
	Email	URL	

出願区分 (何れかに○)	☐ 入門科目 →キャンパス外での学習や鑑賞活動を通して京都活性化のきっかけをつくる科目 ☐ PBL 科目 →フィールド調査や企画立案実習を通して京都地域に貢献する科目
-----------------	--

(事務局記入欄)

受付日	書類確認	備考	確認者
-----	------	----	-----

個人情報の取り扱いについて: ご提出いただいた資料およびご記入いただいた個人情報は、選考、運営ならびに情報提供の目的で事務局および選考委員が利用し、適切に管理致します。

1. 団体の概要 ※申請団体が民間機関の場合、ご記入ください。
大学および行政機関の場合、記入は不要です。

団体名	
法人格	☐ 無 ☐ 有／法 人格の種類：
設立（開設）年	年（設立後 満 年） *法人の場合 任意団体の時期を含む
設立（開設）目的	
主な活動内容	

2. プログラムの概要 *今回申請されているプログラムの要点・特徴を 400 字以内で記入して下さい。

3. プログラムの内容 *全ての項目についてご記入ください。

(1) 受講生にとっての教育効果（受講生にとってのメリット）

(2) 地域人材育成のきっかけ作りにどのように貢献するか

(3) 本プログラム実施に際して、申請団体・連携団体が有している強み

[申請団体]

[連携団体] *該当する場合のみ記入

(4) 本プログラムの授業構成（各回のタイトルとおおよその内容・各回2行以内でご記入ください）

日程	コマ数	構成内容
月 日	1 コマ目	
月 日	2 コマ目	
月 日	3 コマ目	
月 日	4 コマ目	
月 日	5 コマ目	
月 日	6 コマ目	
月 日	7 コマ目	
月 日	8 コマ目	
月 日	9 コマ目	
月 日	10 コマ目	
月 日	11 コマ目	

月 日	12 コマ目	
月 日	13 コマ目	
月 日	14 コマ目	
月 日	15 コマ目	

(5)学外実習場所とその選定理由

[実地場所]

[選定理由]

(6) 申請団体と連携団体等との連携内容（*該当する場合のみ記入してください。）

(7) 過年度の開催実績（同一内容で開催された年度に○を記入ください）

2011 年度 [] 2012 年度 [] 2013 年度 []

(8) 受講料および受講定員

受講料：[] 円 受講定員：[] 名

* 原則無料をお願いします。

4. 授業実施体制

[授業担当者]

氏名	所属・役職	事業の担当・役割

[事務担当者]

氏名	所属・役職	事業の担当・役割

以 上

2014 年度に向けた学生に開かれた「生涯学習講座」について

1. 学生に開かれた「生涯学習講座」(学生課外学習プログラム)事業の経緯

本事業は学生のダブルスクール等への関心が一層の高まりをみせていた 1998 年度に開始され、加盟大学・短期大学が開設している資格取得講座などの課外講座を相互受講できるシステムとして構築された事業である。以前は募集ガイドやリーフレットを作成し広報を行っていたが、2005 年度からは本財団の広報・情報発信事業の一つとして位置付け、WEB サイトおよび単位互換履修生募集ガイドによる情報発信している。なお、2011 年度からよりわかりやすい名称として、学生に開かれた「生涯学習講座」と変更して実施している。

2. 2013 年度学生に開かれた「生涯学習講座」の提供大学および講座数

以下の通り、6 大学 16 講座（前年度 3 大学・短期大学より計 13 講座、前々年度：5 大学・短期大学 25 講座）が提供されている（2013 年 2 月現在）。

大阪成蹊大学	5 講座
大谷大学	2 講座
京都華頂大学・華頂短期大学	1 講座
京都文教大学・京都文教短期大学	6 講座+1 講座検討中
京都ノートルダム女子大学	2 講座
同志社大学	5 講座

3. 今後の流れ

(1)参加人数の確認(お願い)

上記 2013 年度に開かれた「生涯学習講座」について参加人数について（tg@consortium.or.jp）までご報告をお願いしたい。

(2)掲載スケジュール

次年度以降も継続して取り組みをすすめるが、募集ガイドの完全化 WEB に伴い、大学コンソーシアム京都の WEB サイトのみに掲載し、情報発信を行う。2014 年度に向けたスケジュールは以下のとおりである。

2014 年	2 月	情報提供依頼・集約（講座名のみ）
	3 月	WEB サイトに掲載

以上

■学生に開かれた「生涯学習講座」の紹介

大学コンソーシアム京都の加盟大学の中で、他大学生に生涯学習講座を開放している大学と、その提供講座を紹介します。資格取得対策や文化・芸術・教養の習得、また、就職・進学・留学などを見据えた学習や自らのキャリアアップに活かしてください。講座に関する問い合わせ・申込みは、下記の各講座提供大学の担当窓口まで直接連絡してください。

大学名/連絡先	講 座 名
大阪成蹊大学 教務課 TEL :06-6829-2538	フィールドワーク(海外美術研修) 前期集中 (予定) 絵本論/書物論 後期 (予定)
大谷大学 教育研究支援課 TEL :075-411-8161	開放セミナー 紫明講座 博物館セミナー 京都学講座 湖西セミナー
京都華頂大学・華頂短期大学 学生センター学生課 TEL :075-551-1250	「華頂公開講座全6回 ※平成24年度講義テーマ「東日本大震災とボランティア」
京都光華女子大学 エクステンションセンター TEL :075-325-5288	・春期・秋期公開講座(内容・日程未定) ・「源氏物語を読む」(月2回・年間24回講座 金曜日10:30～12:00)
京都文教大学・京都文教短期大学 地域連携室 TEL :0774-25-2414	「京都文教教養講座」大学・短大合同講座 全8回 ・大学の2学部の臨床心理学部・総合社会学部と短期大学の幼児教育学科が各固有のテーマのもとにその専門性が表れる講座を計画しております。 「いきいき健やか講座」:前期開講「気功入門講座」 「日本の政治について(仮)」 「あおい講座」:後期開講「すくすく子育て講座」・「やさしいヨガ」・「陶芸教室」 あと1講座検討中
京都ノートルダム女子大学 TEL :075-706-3689	「香木の魅力 ～香道や薫物～」 「認知症高齢者への対応とスピリチュアルケア」
同志社大学 キリスト教文化センター事務局 TEL :075-251-3320	手話入門講座、応用講座(今出川クラス) 点訳入門講座、応用講座(今出川クラス) 手話入門講座(京田辺クラス) 点訳入門講座(京田辺クラス) 「体験学習方式で学ぶ援助的なコミュニケーション」(今出川クラス)

※2013年2月現在の内容です。変更される場合がありますので、必ず各講座提供大学担当窓口で確認してください。

なお、各大学から京カレッジ(生涯学習)事業に多くの科目提供をいただいております。京カレッジ科目のうち、市民教養講座、キャリアアップ講座、京都力養成コースについては、一般・社会人の方と同様に出席をすることで受講可能です。興味のある皆さんは是非「京カレッジ募集ガイド」を入手してください。

京カレッジ募集ガイドは、キャンパスプラザ京都、京都市役所、図書館などで配布しています。

